

「感謝」

ひだまり コラム

高橋 壽子

「日本 羽生結弦選手 金メダル！」宮城県のみならず日本中が歓喜であふれた瞬間でした。小さい時から「オリンピックで金メダルを取りたい」という夢を実現させたことは、ものすごいことだと思います。メダリストになった選手も、惜しくもメダルに届かなかった選手も競技を終えて口にするのは、「これまで支えてくださった大勢の方々や応援してくださった皆さんに感謝したい。」というような言葉です。技や演技だけでなく心も素晴らしい、さすが一流のアスリートたちだと強い感動を覚えました。

東日本大震災から3年がたちます。震災後、日本だけではなく世界各地からたくさんの励ましと支援をいただいていることも「感謝」の言葉以外には見当たりません。

人は多くの人々と関わる中で支えられ、それを土台にさらに前向きに進んでいけるんだと改めて感じています。

私が定年退職まで38年間仕事をやり遂げられたのも、たくさんの方々からの指導、支え、協力等がある

【ある日のボランティア活動日誌】

ボランティア活動後その日にあったこと、感じたこと、気がついたことなどを活動日誌に記入しています。ある日の日誌をご覧ください。

【外来活動】〇月〇日

ボランティア初日でしたが、周りの方々に教えていただきながら外来補助の仕事をなんとか終わりました。予約日を間違えて来たり、予約なしでの健康診断など、いろいろな事例に出会いました。みなさん気持ちよく挨拶してくれました。

【緩和ケアティーサービス】〇月〇日

今日は10名の方がご利用してくれました。「お花を見て、美味しいコーヒーをいただいて、気持ちリフレッシュしました」と言われました。久しぶりにラウンジにもぎやかでした。

【外来活動】〇月〇日

多すぎず少なすぎずのんびり外来でした。絵手紙を楽しみにしている患者さんから、来月の予定を聞かれました。

【緩和ケアティーサービス】〇月〇日

午前中に降った雨のせいか、むし暑い日でした。そのせいかアイスコーヒーが多く出ました。庭にベットを出して、患者さんがジュースを飲んでおられました。外は涼しい風…。

【図書回収】〇月〇日

たくさんの方が、大切に本を読まれているのを感じました。必要な所に必要な本を届けられればいいな…と思いました。

【移動図書】〇月〇日

4F 6人 13冊  
ロビーコンサートと絵手紙のご案内をする。絵手紙を楽しみにしている患者さんがいらっしゃいました。

【花活け】〇月〇日 花の水替え

穏やかな春の陽気に中庭の花もだいふくがましました。ご家族の方と、花を通じておしゃべりをし、「やはり癒やされますね」との事でした。

【移動図書】〇月〇日

4F東8人14冊・西3人3冊  
雑誌が少なく、借りる方は選ぶのに迷っていらっしやいました。東野圭吾の本を希望の方がおり、数冊を部屋にお届けしました。

【花活け】〇月〇日 花の水替え

【緩和ケア絵手紙教室】〇月〇日

編集後記

もうすぐ桜の季節が巡ってきます。ここがんセンターの桜も見事で、毎年楽しませてもらっています。

4月になると、ロビーでのコーヒータイムやコンサート等のイベントが今年も始まります。ロビー全体が、コーヒーのふくよかな香りや素敵な音楽に満たされるひとときです。

編集委員

阿部悦子 氏家洋子 加藤洋子 斉藤美智子  
佐々木サチ 前田利子

平成26年度ロビーコンサート 予定

- 4月 加藤八郎 心の演歌人生
- 5月 仙台アイリッシュハーブアンサンブル
- 6月 篠笛山口流 演奏会
- 7月 福祉大学ギター部コンサート
- 8月 ハワイアンフラ&演奏
- 9月 混声合唱「山元グリーンヒルズ」
- 10月 瓜生満美オカリナコンサート
- 11月 バンドコンサート
- 12月 高専軽音楽部コンサート

2014

VoL 28

ひだまり

宮城県立がんセンターボランティア「ひだまり」平成26年3月15日 発行

編集責任者 「ひだまり」編集委員会



特集 外来の活動

病院ボランティア「ひだまり」は、平成12年宮城県立がんセンターで活動を開始いたしました。外来案内活動は、平成13年3月から始まり今ではみどりのエプロンのボランティアスタッフとして活動の要になっています。

【外来活動の心構え】「ひだまり」手引書より抜粋

病院にみえる方は、身体の不調や心理的不安をかかえていらっしゃる方がほとんどです。外来関係のボランティアは、そうした方々が初めての病院で不安になったり、慣れない受付機を前に当惑したり、広い院内で迷わないようお手伝いをします。

そして、少しでも心身の負担を少なくし安心して病院を利用していただくことを目的としています。

【外来活動時間】 平日 午前8時45分～10時

【外来活動内容】 外来案内・診療案内  
車椅子介助・雨傘貸出  
荷物入れカート貸出



現在ボランティア登録者数は7名ですが、そのうち男性のボランティアは10名です。力強い外来担当男性ボランティアスタッフを紹介しま



歩行器の案内中



車椅子介助は任せて下さい



入退院用カートの案内中



受付機の説明をしています

《集学治療棟》

第2外来 南條 あけみ  
放射線技師 國香 大介

昨年10月にオープンしました集学治療棟（新棟）には、1階に20床を有する外来化学療法室、地下2階には第2放射線診療部門が設置されました。第2放射線診療部門には、照射ビームに強弱をつけ、病巣に線量を集中させて正常臓器には余計な線量を当てない、IMRTと言う最新の治療が行える宮城県内に1台しかない高精度放射線治療装置『トモセラピー』、糖代謝を利用して遠隔転移など一目で発見できる『PET-CT装置』が導入されました。いずれも『がん医療』には優位とがんセンター本館と新棟の渡り廊下にある棚には、ボランティアの方々による季節ごとの“ステキ”なフラワーアレンジメントやオブジェ、お人形が飾られております。この廊下は、化学療法の患者様や、放射線診療に関わる患者様が通られます。治療・検査を受けるために来院される患者様にとっては、ちょっとした“癒しの空間”になっておられるのではないのでしょうか…。またボランティアの方々には新棟へ迷われた患者様の誘導などとして頂き大変助かっております。私たちスタッフも、手作りのかわいいお雛様などを通りすがりに拝見し癒されており、スタッフ一同、心より感謝申し上げます。

今後ともボランティアの方々の“ステキ”な笑顔と装飾に癒されながら、日



平成24年度登録 ボランティアスタッフ 紹介



外来案内・帽子仕上げなどを  
行っています (酒匂)

火曜日の図書整理を  
担当しています



おはよう  
ございます



ミシン担当です 金曜日に  
きんちやく袋を縫っています  
(藤尾)

帽子仕上げやギャラリー展  
などの活動をしています



ソーイング担当できんちやく袋を作っています  
(高橋)

たう  
かなく  
ア  
出来



帽子仕上げの専門ボランティアで 木曜日に来て  
います (但野)



外来や花活けなどを行っています (渡部)

棋図  
相書  
整理  
などの  
患者  
さん  
との  
活動  
を行  
って  
将  
(菊地)



平成24年度登録 ボランティアスタッフ 紹介



火曜日の緩和ケア病棟花活け担当です (佐々木・奥)

美味  
しい  
コー  
ヒー  
お持



緩和ケア病棟のティーサービス担当です (遠藤)



緩和  
ケア  
病棟  
入浴  
介助  
専門  
(今野)

金曜日に中庭掃除や植物の手入



ボランティア研修会&意見交換会 開催 平成26年3月5日(水) 午後1時30分~4時 大会議室にて



熱心に話しに聞き入るボランティアスタッフ  
参加者は31名でした。

病院ボランティアとして、活動の意識を高めスキル  
アップを図り充実した病院ボランティアを行うため、  
年に数回研修会が開催されます。

平成25年度第3回 ボランティア研修会  
講演題目 「がん患者の“家族”になった時」  
講師 宮城県立がんセンター 相談支援センター  
がん看護専門看護師 松田芳美さん

がん患者の家族が抱える問題とその対処法について、  
とても分かりやすく的確な講演だったと好評でした。  
研修会後には、ボランティア活動10年以上の  
スタッフへの感謝状授与と、がんセンター職員との  
意見交換会も開催されました。  
意見交換会は、ボランティアの眼を通して気づいた  
病院への提案事項や改善事項などを病院職員と話し

横山喜和子さん 渡辺京子さん 遠藤桂さん



自分  
が  
出  
来  
る  
こ  
と  
を  
続  
け  
た  
だ  
け  
で  
す

感謝状授与対象者は7名で、この日は3名が片倉院  
長から感謝状をいただきました。  
残念ながら、当日都合が悪く欠席の4名(佐々木禮  
子さん・川村信子さん・早坂みつ代さん・西條アヤ  
子さん)はそれぞれの活動日に院長より授与されま

